

「Kishiwada Digital Museum」を通じた Web デザインの研究

大阪府立岸和田高等学校

熊取谷 栄美

要旨

Web デザインという言葉はサイトのレイアウトをさしてよく使うが、今回は利用者にとって使用しやすいデザイン、作成者に管理しやすいデザインといった使い方をする。

「KAD 岸コレデータベース」を利用しやすく、更新を継続させられるホームページに作り換える取り組みをした。更新手段の手軽さやデザインを見やすく作成しなおしたが完成には至らなかった。更新を継続していくには更新する内容が必要だと分かった。

目的

2016 年時点で日本のインターネット利用率は 80%を超えており (図 1)、ホームページは何かを広く PR する大切なツールの 1 つである。しかし、岸和田高校情報ゼミが公開している

「KAD 岸コレデータベース」は更新が停滞している状態である。これはホームページの利用者に良い印象を与えない原因となってしまう。今回は、更新が継続しない問題に解決策を出すとともに、「KAD 岸コレデータベース」をより利用しやすいホームページに作り換える。

前提として、ホームページの目的は岸コレを世界に広げることである。

方法

◇ 使用するもの、言葉の説明

- ホームページビルダー20SP
コンピューター言語の知識を必要とせずホームページの作成ができるソフトウェア。
「ホームページビルダー20SP マニュアル」
でネット検索をしてマニュアルの pdf ファイルをダウンロードし、それを参考に作成していくとよい。
- Adobe Illustrator
アドビシステムズが販売するイメージ編集ソフトウェア
- Google アナリティクス
Google が提供している無料の Web ページの

アクセス解析ツール。サイトの訪問者数、使用されたデバイスなど、利用者のデータが取れる。

- KAD 岸コレデータベース
岸和田高校の情報ゼミで「岸コレ」を世界に広める活動の一環として制作された web ページ。以下「KAD」
 - 岸コレ
旧制中学時代の校長が収集された和漢書類「落合文庫」をはじめ、生物標本、物理実験器具を集めた科学資料などの総称。
 - HTML
コンピューター言語の中のマークアップ言語の 1 つで、HTML タグでソースコードを構成し、それをブラウザで読み込むことで web ページとなる。
 - CSS
HTML タグで囲んだ範囲の文字の色、大きさ、背景の色や配置などを指定するための言語。
1. 更新が継続しない問題について
「KAD」はコンピューター言語の HTML と CSS を使用して作成されており、知識がなくては更新が難しい状態である。その解決策として専門的知識がなくてもホームページを作成できるホームページビルダーを利用し誰もが簡単に更新可能なホームページを作成する。

2. ホームページの内容、構成について

「KAD」の内容は大きく分けて落合文庫、生物標本、科学資料、郷土資料、デジタルアーカイブス、情報ゼミの作品である。初めに、生物標本の生物標本（鳥）と生物標本（他）のページの違いがタイトルのみで、ページの変化がわかりにくい点。ページの上部に配置されたピックアップ欄により、変化した箇所がスクロールしなければ見えないことを解決するため、ピックアップをなくした。また、文字だけのページから画像つきメニューへ変更し、より変化をわかりやすくした。科学資料も画像メニューへ変更。器具や動植物の名称を知らない利用者に興味を持ってもらう狙いもある。画面とメニューバーが四角く単調になることを防ぐこと、写真が密集している窮屈感を与えない余白を作る目的で円い写真メニューを採用した。次に、ページによってメニューの表示が変化する問題。一貫していないメニューは利用者に混乱されるため、どのページでも同じメニューが表示されるよう修正する。次に、デジタルアーカイブスで公開している pdf ファイルの 53 分の 3 しか正常に機能していない問題。リンクを貼り直さなければならない。最後に各ページに点在、重複している内容（解体新書、学問のすすめなど）を 1 箇所に固定し、どのように整理しているかを分かりやすくする。

3. デザインについて

初めに岸コレのページのみが他のページより狭い幅のデザインとなっており統一感を損なっている問題。狭くしているメニューを上部に移動することで解決する。次に全体的なホームページの印象がはっきりとしない問題。原因は背景色とページのパーツの明度差が少ないことである（図 2）。背景を白くし、メニューバーなどを明度の低い色を使うことでメリハリのあるページとなる（図 3）。最後に生物標本の各動物ページ

で、四方からの 4 枚の写真が縦並びでスクロールが長い問題。これはスライドショーにすることでページの縦の長さを減らした。スクロールを減らし利用者の負担を減らすためである。

結果

簡単な更新方法の確保、生物標本のページの改良、メニューの統一、各ページに点在し重複していた内容の整理、ページのデザインの統一、ページにメリハリを付けることは完了した。各動物のページの写真のスライドショー化は一部のみ完了している。

課題研究のポスター発表では、「背景の白基調としたデザインに清潔感があり、見やすい」「円い写真がおしゃれ」「写真のスライドショーに動きがあつて良い」と意見をいただき、以前より改善されたと判断した。

岸コレを広めるという目的に学生の研究成果を広めるという目的が加わったので、ホームページ名を「Kishiwada Digital Museum」に変更した。

考察

更新が継続しない問題について、更新手段の改善をしたが内容の必要性を感じた。岸コレは歴史的価値のあるものだが、今後増えることは考えられず、これらを話題に更新を継続することは難しい。デジタルアーカイブスに収録されている各ゼミの研究結果は年度ごとに増えていくので、それらを掲載していくことが更新につながっていくのではないかと。

広く岸コレなどの内容を知ってもらうという目的から、他のホームページとリンクを繋げることも手段の 1 つである。

残っている作業が完了しだい、Google アナリティクスを利用し以前と新たなホームページとの利用者数やリピートの統計を取ることで具体的な数字で考察できる。アンケートを設置し、利用者の意見を聞くこともできるだろう。見やすさについては良い評価をいくつか得られたので、利用しやすさの確認が必要となってくる。

結論

途中までではあるが、問題の部分を作成しなおすことで見やすくなった。ホームページの更新を継続して行うには更新のしやすさだけではなく更新する内容も必要であることが分かった。

参考文献

- 1) Kishiwada Digital Museum
(<http://www.osaka-c.ed.jp/kishiwada/KDM/index.html>)
- 2) KAD 岸コレデータベース
(<http://www.osaka-c.ed.jp/kishiwada/kad/index.html>)
- 3) 目立つ色・・・誘目性と視認性
(<http://a-color-sense.com/?p=136>)
- 4) AFPBB News
(<http://www.afbb.com/articles/-/3026121>)
- 5) 色見本と配色サイト
(<https://www.color-sample.com/>)
- 6) 読みやすさと配色の両立：文字色と背景色の組み合わせの評価-CiNii
(<https://ci.nii.ac.jp/naid/110001711089#ref>)
- 7) ホームページを更新しない会社はなぜ成果を出せないのか？
(<https://ds-b.jp/ds/publics/index/113/>)
- 8) ホームページを台無しにする絶対やってはいけない web デザイン
(<https://ja.wix.com/brog/2014/09/絶対やってはいけないwebデザイン/>)
- 9) 感覚派デザイナーも知っておいて損はない「デザインの要素と原則」
(<https://webnaut.jp/design/620.html>)

